★は Ver6.0 有料機能

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
Ver5.5以降	ベース 柱 梁 スラブ(勾配) 壁	平面図入力画面	各平面図入力画面の立体表示にて DirectX での表示対応を行いました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図	平面図入力画面で表示できる立体表示機能において、DirectX でも表示可能にしました。 ※今まで平面図画面で使用する立体表示のグラフィック表示は OpenGL システムを利用した表示でしたが、パソコンのスペックによっては OpenGL での立体表示時にエラーが発生する場合がありましたので、今回 DirectX でも動作可能としました。 ※DirectX の動作不可の場合は OpenGL での動作となります。 ※パソコンの性能によっては３Ｄ表示できない場合もございます。 第８章 平面図入力メニュー 8.3.1 平面図入力部材共通メニュー ③立体表示
	ベース 柱 梁 スラブ 壁	平面図入力画面	平面図入力画面の記号・高低の表示で太字(Bold)表示の選択設定可能に。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図	平面図入力画面で表示される記号及び高低の文字を太字で表示します。 ※平面図入力メニュー内の[平面図設定]内に設定追加 第８章 平面図入力メニュー 8.3.1 平面図入力部材共通メニュー 平面図設定
		平面図入力画面	平面図の DXF 図面、図面画像の位置合わせ画面のリニューアル。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図	平面図でのＤＸＦ図面又は図面画像の図面固定操作方法を改善致しました。 第８章 平面図メニュー 8.2 背景伏図 図面固定
	ベース 梁 スラブ	躯体寸法変換の確認伏図	確認伏図に躯体の高低印字を行う機能を追加。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図	平面図入力の躯体寸法変換画面内の[確認伏図印刷設定]にて印字有無の設定が可能です。 第８章 平面図入力メニュー 8.4 躯体寸法変換 確認伏図印刷設定

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
★	ベース 柱 梁 スラブ 壁	各施工図画面	施工図をＤＸＦファイルとして保存する機能を追加。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	施工図画面上の DXF ボタンより DXF ファイルとして保存できます。 ※ＪＷＣＡＤでの動作確認を行っています。 第６章 積算・施工図 6.3 施工図部材共通操作 ⑦DXF データへ出力
	ベース 柱 梁 スラブ 壁	各施工図画面	施工図の印刷でプリンタ選択が可能になります。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	施工図画面上にプリンタ選択を行う設定ボタンを追加しました。 第６章 積算・施工図 6.3 施工図部材共通操作 ⑧プリンタ設定・印刷
	ベース	計算値設定画面	ベースダイヤ筋計算時に減寸値の設定可能に。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	テクニカル ベース計算値設定 ベース全般 ダイヤ筋
	柱	計算値設定画面	柱アンカ長さのｄ入力対応、及び最低アンカ長の設定を可能に。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	テクニカル 柱計算値設定 柱全般 定着・継手
	柱	リスト入力画面	フープの材質一括変更機能。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	フープ筋の材質を全ページまとめて一括変更することを可能にしました。 第４章 配筋リスト入力 4.2 柱リスト入力 材質一括変更
	柱	リスト入力画面	仕口フープ入力時、前回入れた値が自動的に出てくる設定追加。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	第４章 配筋リスト入力 4.2 柱リスト入力 仕口部入力

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	柱	リスト入力画面	フープ種類追加。 	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	第４章 配筋リスト入力 4.2 柱リスト入力 データ入力 フープ入力
	梁	計算値設定画面	各スパン圧接の設定を計算値設定で一括指定。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	テクニカル 梁計算値設定 2 標準計算値設定 継手 継手位置
	梁	リスト入力画面	スタラップ材質一括変更機能。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	スタラップ筋の材質を全ページまとめて一括変更することを可能にしました。 第４章 配筋リスト入力 4.3 梁リスト入力 材質一括変更
	梁	計算値設定画面	最上階梁でも「下筋端部継手領域は、梁成分を考慮する・しない」の設定追加。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	テクニカル 梁計算値設定 2. 標準計算値設定 継手 継手位置
	梁	リスト入力画面	スタラップ種類追加。 	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	第４章 配筋リスト入力 4.3 梁リスト入力 データ入力 スタラップ入力
	スラブ	リスト入力画面 躯体寸法入力画面	段差スラブの計算に対応。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	※平面図入力画面上での段差入力はできません。 躯体寸法入力画面での段差部入力となります。 ※変形スラブの段差は未対応です。 第４章 配筋リスト入力 4.4 スラブ・変形スラブリスト入力 段差補強筋 第５章 躯体寸法入力 5.3 スラブ躯体寸法入力 段差

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	スラブ	リスト入力画面 躯体寸法入力画面	開口の入力・計算に対応。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	※平面図入力画面上での開口入力はできません。 躯体寸法入力画面での開口入力となります。 第４章 配筋リスト入力 4.4スラブ・変形スラブリスト入力 開口補強筋 第５章 躯体寸法入力 5.3スラブ躯体寸法入力 開口
	スラブ	リスト入力画面 躯体寸法入力画面	ボイドに対応した入力・計算を可能に。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	※平面図入力画面上でのボイド入力はできません。 躯体寸法入力画面でのボイド入力となります。 変形スラブのボイド計算は未対応です 第４章 配筋リスト入力 4.4スラブ・変形スラブリスト入力 配筋データ入力 ボイド ボイド配筋位置 第５章 躯体寸法入力 5.3 スラブ躯体寸法入力 ボイド配筋位置
	スラブ	施工図画面	鉄筋寸法の表示位置を任意の場所へ移動することが可能になります。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	スラブ施工図画面上に[文字編集]機能を追加しました。 第６章 積算・施工図 6.3.4スラブ施工図 文字編集
	壁	計算値設定画面	縦筋（さし筋）立ち上がりの最低アンカ長指定が可能になります。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	現状、定着長とのみこみ寸法から計算しているアンカ長に対し、指定した最低アンカ長は必ずとるようにすることができます。 テクニカル 壁計算値設定 壁全般 定着・かぶり・アンカ
	壁	計算値設定画面	横筋アンカ長は定着する躯体が柱と壁の場合で別々に判断されるように。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋平面図 拾之助 現場之助	テクニカル 壁計算値設定 壁全般 定着・かぶり・アンカ

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	加工帳	加工帳画面	加工帳画面－[付加範囲]機能の[名称での自動選択]の名称欄は名称一覧からの選択入力も可能に。	加工帳が使用できる製品	第３章 加工帳メニュー 3.2 計算済み加工帳 付加範囲 名称で自動選択
	加工帳	加工帳画面	加工帳画面表示時に先頭行又は最下行から表示する選択設定の追加。	加工帳が使用できる製品	第２章システムメニュー 2.8 加工帳設定 編集設定３ 表示に関する設定
	加工帳	加工帳画面	加工帳の印刷でプリンタ選択可能に。	加工帳が使用できる製品	第２章システムメニュー 2.8 加工帳設定 印刷設定 プリンタ設定
	加工帳	加工帳画面	加工帳印刷の切寸欄、材質を空白で印字行うか選択可にしました。	加工帳が使用できる製品	加工帳及び加工明細書の印刷時に有効です。 第２章システムメニュー 2.8 加工帳設定 印刷設定 印刷設定
	加工帳	加工帳一括印刷	加工帳を一括印刷にて、階・部材毎でページ数を振る設定機能を追加。	加工帳一括印刷機能が使用できる製品	加工帳及び加工明細書の印刷時に有効です。 階部材毎でページ数を印字するか、全て通しでページを印字するか選択できます。 第２章システムメニュー 2.8 加工帳設定 印刷設定 一括印刷のページ番号設定
	加工帳	加工帳画面	範囲行指定を行って「取り合わせ」や「まとめ」を行ったあとに選択されていた行範囲を解除するかしないか設定可能に。	加工帳が使用できる製品	以下の機能を範囲選択を使用して行った後、範囲選択を自動解除するか選択できます。 「まとめ機能」「印刷機能」「付加機能」「集計機能」「編集機能」「特殊機能」 第２章システムメニュー 2.8 加工帳設定 編集設定３ 範囲指定に関する設定

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	加工帳	加工帳画面	加工帳日付の自動入力を行う機能を追加。	加工帳が使用できる製品	第２章システムメニュー 2.8 加工帳設定 編集設定３ 日付に関する設定
★	加工帳	加工帳画面 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ 送受信画面	加工帳行単位でファイルとしてデータ保存する機能を追加。 保存された加工帳データファイルは読み込んで復元することも可能です。	加工帳が使用できる製品	加工帳行単位でのデータ保存（ファイルとして保存）・復元を可能に。 保存されたファイルはインターネット送受信機能での送受信も可能とする ※インターネット送受信機能の利用は年間サポート契約期間内でのご利用が可能です。 第１章メインメニュー 1.3.10 インターネットでのデータ送受信 第３章加工帳メニュー 3.2 計算済み加工帳 特殊機能 加工帳読込 加工帳保存
★	加工帳	加工帳画面	「まとめ」を行った状態を保存する機能を追加。	加工帳が使用できる製品	第３章加工帳メニュー 3.2 計算済み加工帳 まとめ機能 まとめ保存
	加工帳	加工帳画面	加工帳帳票の内枠印字太さを設定できる機能を追加。	加工帳が使用できる製品	第２章システムメニュー 2.8 加工帳設定 印刷設定 加工帳枠線太さ設定
	絵符	絵符書式設定	絵符の自由書式で数種類の保存を可能にしました。	絵符印刷が可能な製品	現状、自由書式として１パターンのみ作成することができますが５パターンまで作成し、どれを使用するかも選択可能となります。 第２章システムメニュー 2.7 絵符印刷設定 自由書式

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
★	絵符	加工帳画面	加工帳行毎に絵符印刷を行うとマークを表示する機能を追加。	絵符印刷ができる製品	加工帳画面より絵符印刷を行った場合、加工帳行に絵符印刷を行ったマークを表示します。 第２章 2.8 加工帳設定 編集設定２ 印刷済印設定
★	一括印刷	印刷機能	拾之助の機能追加。	拾之助 拾之助＋平面図	「拾之助」で以下の一括印刷機能を可能とします ・加工帳 ・絵符 ・施工図 ・加工明細

鉄之助 Ver7.0 機能アップ一覧

★は Ver7.0　有料機能

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
★	帳票	重量内訳明細 圧接箇所集計表 定着板箇所数集計表	柱・梁・スラブの各部材にて集計値を合算して表示(印刷)が可能になりました。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 入出庫之助 ＬＡＮ之助 読取之助 (現場之助)	「柱」「柱フカシ」を「柱」として合算することができます。 「大梁」「小梁」を「梁」として合算することができます。 「スラブ」「変形スラブ」を「スラブ」として合算することができます。 各部材での合算のさせ方、合算後の部材名称は設定可能です。 ※現場之助は定着板箇所数集計表のみ使用可
★	圧接箇所集計	圧接箇所集計表	圧接箇所集計結果を Excel 画面に出力が可能になりました。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 入出庫之助 ＬＡＮ之助 読取之助	
★	各部材	確認伏図画面からの 躯体ページの選択	躯体ページ選択画面に確認伏図を表示する機能を追加しました。 又、確認伏図画面上の躯体をクリックしてページ選択することが可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ (鉄之助スタンダード) (拾之助) (現場之助) (加工帳系製品)	躯体入力・部分計算・施工図・計算済み加工帳の各躯体ページ選択画面上で確認伏図の画面を表示(印刷)することができます。 左の( )内の製品であっても平面図から積算を行った鉄之助データを復元した場合は、確認伏図を画面上で表示(印刷)し、躯体のページ選択を行うことが可能です。
	各部材	各部材の計算値画面	アンカ付き鉄筋のはたらき表示において定尺材又は切断材の場合で表示方法の変更が可能になりました。	積算系製品	各部材計算値画面の[加工帳]→[表示処理]設定内。 定尺材又は切断材のどちらかをアンカ長のみ表示といった設定が可能になります。 ※計算によって出力される形状№がない鉄筋形状のみ対象です。
	各部材	各部材の施工図画面	施工図のＤＸＦ出力で、躯体線分と鉄筋線分がレイヤで分けて出力されるようになりました。	積算系製品	ベース・スラブ・変形スラブ・壁 　躯体線分と鉄筋種類(施工図の表示鉄筋)毎にレイヤに分かれます。 梁・柱 　躯体線分と主筋情報及び鉄筋線分の２つのレイヤに分かれます。
	３D 表示	３D 画面の印刷	3D 画面の印刷でプリンタ選択が可能になりました。	3D 表示可能な製品	
	３D 表示	３D 画面の印刷	3D 画面の印刷において A1・A2 サイズの印刷が可能になりました。	3D 表示可能な製品	A1 又は A2 サイズのプロッタからの出力も可能になります。

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	平面図	通芯入力画面	階別の通芯を作成することが可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	通芯入力画面上にて全階共通の通芯とは別に各階で表示する通芯を作成することができます。 ※CAD 読み込みの機能は全階共通の通芯入力の場合のみ使用可能です。
★	平面図	通芯入力画面	通芯入力画面上での背景伏図の切り替えが可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	
	平面図	通芯入力画面の 伸縮機能	通芯入力画面の伸縮機能時に複数の通芯を選択して伸縮させることが可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	
	確認伏図	確認伏図印刷設定	確認伏図の印刷時にプリンタの選択が可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	確認伏図印刷設定にてプリンタの選択が可能です。
	絵符	絵符印刷設定の 絵符自由書式	絵符自由書式のコピー機能を追加しました。	全般 ※加工帳之助は不可	メインメニューの[システム]→[絵符印刷設定]→[絵符の書式編集] 自由書式では白紙の状態から絵符書式を作成する必要がありましたが、予め用意されている書式１～９を自由書式にコピーしてお好みの絵符書式に変更することが可能です。自由書式間でのコピーも可能です。 ※書式１～９から自由書式にコピーした場合、線の太さや文字位置・サイズに若干の違いが生じます。
	絵符	絵符印刷設定の 絵符自由書式	絵符自由書式内に会社名(ゼネコン名)の項目を追加しました。	全般 ※加工帳之助は不可	メインメニューの[システム]→[絵符印刷設定]→[絵符の書式編集] 自由書式作成画面の左枠内に「会社名(ゼネコン名)」の項目が追加されています。
★	加工帳	加工帳入力画面	材質を一括変更する機能を追加しました。	全般	加工帳画面の[特殊機能]→[一括変更]→[材質変更] 加工帳全体又は範囲選択された部分の変更が可能です。
	加工帳	加工帳入力画面	入力した鉄筋形状に対して、定着板の有無を指定することが可能になりました。	全般	梁の定着板対応に伴い、加工帳画面で定着板付きの鉄筋の表示が可能になりました。 加工帳画面に[特殊機能]→[定着板]より、定着板の有無の編集が可能です。
	加工帳	加工帳設定画面	加工帳印刷時に右上に印字される「印刷日」、「納期」の印字有無を設定可能にしました。	全般	加工帳設定画面内の「印刷設定(共通)」で設定可能です。
	加工明細	加工帳設定画面	加工明細書にて A4 縦 20 行での印刷が可能になりました。	全般	加工帳設定画面内の「加工明細印刷設定」で設定可能です。 今までの A4 横(10 行)又は A4 縦(20 行)かの選択になります。 ※A4 縦の 20 行印刷の場合、A4 横の場合より縮小されます。
	加工明細	加工帳設定画面	加工明細書に印字される重量値や圧接、担当者、メーカー項目の印字有無の設定を追加しました。	全般	加工帳設定画面内の「加工明細印刷設定」で設定可能です。

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	帳票	鋼材伝票印刷画面	鋼材伝票の印刷設定に「定尺本数」の印刷有無の設定を追加しました。	全般	鋼材伝票の印刷実行時に表示される鋼材伝票印刷設定内で設定できます。
	特殊鉄筋明細	特殊鉄筋明細	特殊鉄筋明細に部材名称を表記するようになりました。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助 入出庫之助 ＬＡＮ之助	
	出庫重量明細	出庫重量明細の設定	ページNo.の印字有無を設定可能にしました。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助＋在庫管理ｵﾌﾟｼｮﾝ 入出庫之助 ＬＡＮ之助 読取之助	出庫重量明細書画面内の印刷設定で選択できます。
	手書用紙印刷	手書用紙の印刷設定	手書き用紙の径、切寸、本数項目に点線をいれるかどうか選択可能になりました。	読取之助	
	帳票 （重量集計関連）	使用数量明細 重量内訳明細 ※1 出庫重量明細 ※2 日付・径別出来高 ※3 加工手間集計表 ※3 工事階部材材質径別重量 ※3 重量明細書 ※4 加工指示書 ※4 日付工事階部材径別出庫表 ※4 径別契約入出在庫表 ※4 会社別入出庫表 ※4 在庫重量明細 **※5** 径別入出在庫一覧 **※5**	左の集計実行時の条件として定着板の有無の選択を追加しました。	各集計が可能な製品	※1 絵符之助・現場之助では使用できません。 ※2 拾之助・現場之助・絵符之助では使用できません。 ※3 拾之助・現場之助・読取之助・絵符之助では使用できません。 ※4 入出庫之助・LAN 之助で使用できます。 **※5** 入出庫之助・LAN 之助・拾之助(在庫管理ｵﾌﾟｼｮﾝ付)で使用できます。 入庫入力では定着板を考慮した入力項目はありません。 出庫重量としては定着板の有無の条件により集計することが可能です。 ※加工帳之助は使用数量明細のみ使用可能です。
	重量内訳明細	重量内訳明細の画面	重量内訳明細書の保存済み結果のグリッドの表示幅を記憶するようになりました。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 入出庫之助 ＬＡＮ之助 読取之助	重量内訳明細書の画面左に表示されている保存済みの集計結果のグリッドの表示幅を変更した場合、変更した表示幅を記憶するようになりました。 再度重量内訳明細書画面を開いた場合は、記憶されている表示幅で表示されます。

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
★	定着板箇所数集計表	定着板箇所数集計表	定着板の箇所(個数)の集計を行います。	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助 入出庫之助 ＬＡＮ之助	メインメニューの基本集計タブ内に「定着板箇所数」ボタンが追加されています。
	柱	柱の計算値画面	柱一般部のフープがスパイラルの場合、仕口部のフープは溶接閉鎖型にする設定を追加しました。	積算系製品	柱の計算値画面の[フープ・中子・ダイヤ]設定内にあります。
	梁	梁の躯体寸法入力画面	躯体入力画面の各スパン毎に梁トップ筋の余長指定及びトップ筋長さの指定が可能になりました。	積算系製品	長さ指定されていても、通常のL/4+15d(15dは余長設定による)の長さと比較し長い方を採用します。 ※竹中仕様は未対応
	梁	梁の平面図入力画面	梁平面図に配置された各梁の躯体上にて梁トップ筋の余長指定及びトップ筋長さの指定が可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	長さ指定されていても、通常のL/4+15d(15dは余長設定による)の長さと比較し長い方を採用します。 ※竹中仕様は未対応
	梁	梁の平面図入力画面	梁平面図に配置された各梁の躯体上で定着・アンカ・にげの値を指定することが可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	梁平面図画面の機能メニューに「アンカ・にげ」機能があります。
	梁	梁の計算値画面 梁のリスト入力画面 梁の躯体寸法入力画面 梁の平面図入力画面	定着板に対応した計算が可能になりました。 定着板がついた鉄筋の重量集計が可能です。	積算系製品	施工図・加工帳画面での編集も可能です。 梁平面図画面上で定着板の編集が可能です。
	梁	梁の計算値画面	異径圧接を可能とする径の差を指定することが可能になりました。	積算系製品	１サイズ差の異径圧接のみ可能でしたが、柱と同様に異径圧接を可能とする径の差を設定する方式に変更しました。(初期値は５mm) 梁の計算値画面の[継手]設定内にあります。
	梁	梁の計算値画面	垂直ハンチ下筋の切断定着の指定時に両角の鉄筋も切断定着とするか、折り曲げ配筋にするか選択可能になりました。	積算系製品	両角の鉄筋のみ折り曲げ配筋にするのは計算値が「竹中仕様」を選択されていた場合のみでしたが、「竹中仕様」に限らず選択できるようにしました。 梁の計算値画面の[主筋引き通し]設定内にあります。
	梁	梁の計算値画面	ハンチ梁においてハンチ点のスタラップの配筋方法に１サイズアップして２本巻きの設定を選択できるようになりました。	積算系製品	梁の計算値画面の[スタラップ・中子筋]設定内にあります。
	梁	梁のリスト入力画面	スラタップの種類追加 （両側１３５度つめのキャップがつくスタラップ）	積算系製品	

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	スラブ	スラブの平面図入力画面	スラブ平面図上で設定可能な形状指定配筋の登録可能なパターンを６パターンから１２パターンまでに追加しました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	
★	壁	壁の平面図入力画面	壁の配置作業時において「梁面」に合わせて配置することが可能な機能を追加しました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	壁平面図画面において梁躯体の表示を行う設定の場合、壁の躯体配置時に「梁面」配置を選択できるようになります。
★	壁	壁の平面図入力画面	平面図で入力された角補強の径を一括で変更することが可能になりました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	
	壁	壁の平面図入力画面 壁の躯体寸法入力画面	開口の入力を最大７箇所から３５箇所までに増やしました。	積算系製品	
	壁	壁の平面図入力画面	開口入力画面内の開口内に×を表示して見やすく改善しました。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	
	壁	壁の平面図入力画面	配置した壁を上階の梁及びスラブの平面図入力画面上での非表示の指定が可能になりました。 ※壁個々で指定可能です。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	RC・SRC モードの場合 旧ﾊﾞｰｼﾞｮﾝは上階の梁・スラブの平面図入力画面上では表示されませんが、指定された壁に関しては表示されるようになります。 壁構造モードの場合 旧ﾊﾞｰｼﾞｮﾝは上階の梁・スラブ平面図入力画面上で表示されますが、指定された壁に関しては非表示となります。
	壁	壁の計算値画面	アンカ長設定でｍｍ単位設定、ｄ単位設定の両方の指定が可能になりました。	積算系製品	壁の計算値画面の[壁全般]設定内にあります。
	壁	壁の計算値画面	チドリ配筋の幅止余長の設定を変更しました。	積算系製品	壁の計算値画面の[幅止・かぶせ]設定内にあります。
	印刷	各印刷時のプリンタ設定	複数ページ分の印刷ジョブを１つにまとめてプリンタに送ることが可能になりました。	全般	加工帳類、各集計表類、施工図 ※メインメニューからの施工図の一括印刷時におきましては、最大で階部材単位で１つのジョブとしてまとめて送ることができます。 ※元々印刷ジョブを１つにまとめてプリンタに送っていた帳票類に関しましてはこの設定は表示されません。

鉄之助 Ver8.0 機能アップ一覧

★は Ver8.0　有料機能

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	システム	メインメニュー ーデータ送受信	工事サーバーの自動起動機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助 入出庫之助 絵符之助 加工帳之助	鉄之助起動時に工事サーバーをチェックできる機能追加。 鉄之助を起動した時、自動的にインターネット送受信機能への接続画面が表示されるようになります。 自動起動「する・しない」は、選択可能です。
	システム	メインメニュー	FAQ サイト参照ボタン追加	全般	メインメニュー画面に FAQ サイトを表示するボタンを追加しました。 鉄之助の操作に関する Q&A 集を参照することが可能です。 内容は随時追加、更新されていきます。 ※インターネットに接続する必要があります。
	システム	メインメニュー ー工事更新（削除時）	工事削除時に一旦 Windows のごみ箱へ移動するように仕様を変更	全般	今までは工事削除実行時は完全削除を行っていましたが、工事削除実行時は一旦 Windows のごみ箱へ移動するようにしました。 完全削除する場合は、Windwos 上から「ごみ箱を空にする」を行って頂くこととなります。
	システム	システム設定 ー基本計算値	計算値のパターンを増加	積算系製品	基本計算値の標準仕様用を３パターンから１０パターンへ 竹中仕様用を１パターンから５パターンに増やしました。
	システム	フォルダ選択画面	フォルダ選択画面一部変更	全般	工事データフォルダの指定等のフォルダ選択をダブルクリックからシングルクリックのみに変更しました。
	システム	システム設定 ー基本計算値	計算値のコピー機能	積算系製品	計算値のパターン間でコピーを行う機能を追加しました。
	システム	システム設定 ー鉄筋形状	Ａ３印刷対応	全般	形状を一覧印刷する時の用紙選択にＡ３イズを追加しました。 用紙１枚当たり、Ａ４の場合は３２パターン、Ａ３の場合は６０パターンまで印字されます。
★	３Ｄ	メインメニュー ー３Ｄ表示	３Ｄ表示画面のＤＸＦ出力	積算系製品	メインメニュー画面の３Ｄ機能で表示される画面をＤＸＦ形式のファイルに保存することが可能になります。 ※表示されている絵(鉄筋・寸法や文字等)は全て線分として出力します。 ※曲線部分は短い直線の線分であらわし出力します。
	絵符	システム設定 ー絵符設定	絵符自由書式に用紙の余白設定	絵符印刷可能な製品	自由書式で使用する用紙に上下左右の余白設定を追加しました。
	絵符	加工帳画面 ー絵符印刷	プリンタ選択	絵符印刷可能な製品	絵符印刷実行した際にプリンタを選択することが可能になりました。

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
★	集計	基本集計 ー特殊鉄筋明細	特殊鉄筋の重量集計表の Excel 変換	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助 入出庫之助	特殊鉄筋明細の「階・太さ別明細」の集計表を Excel に変換する機能を追加しました。
	集計	基本集計 ー使用数量明細	集計時の加工種別範囲選択の変更	全般	使用数量明細書(単一明細書)の集計にて、集計対象の加工種別を「生材、曲材、切断材、切曲材」から選択することを可能にしました。 ※今までは生材か加工材(生材以外)の選択のみでした。
	加工帳	システム設定 ー加工帳設定	Ａ３印刷対応	全般	加工帳印刷においてＡ３印刷を可能にしました。 Ａ４又はＡ３の選択が可能です。 Ａ３横１枚にＡ４縦の２ページ分を印刷します。
	加工帳	システム設定 ー加工帳設定	加工帳の項目の並び種類を追加	全般	加工帳設定画面内にある加工帳項目の並び順設定に「名称・径・切寸・材質・形状」の順を選択可能にしました。
★	加工帳	システム設定 ー加工帳設定	加工帳画面の背景色変更可	全般	画面の背景色を変更する機能を追加。 白　←→　グレー　の間でお好みの色に調整できます。
★	加工帳	加工帳入力画面	切寸法からはたらき寸法を自動計算	全般	加工帳入力時、今までははたらき寸法から切寸法を自動計算するだけでしたが、切寸法をいれると形状のはたらき寸法を自動で計算する機能を追加しました。 ※はたらき寸法入力時に「＊」を入力すると、切寸法入力時に寸法が自動計算されるようになります。自動計算されたはたらき寸法はカギ括弧{ }で表示されます。
	加工帳	加工帳入力画面のスクロール	ホイール付マウスのホイールでのスクロール対応	全般	加工帳画面のスクロールがマウスのホイールキーで可能になりました。 ※スクロールは１行単位となります。
	加工帳	加工帳入力画面	加工帳画面内に階移動機能追加	全般	加工帳入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	加工帳	加工帳入力画面 ー鋼材伝票印刷	印刷日付の編集可能に	全般	鋼材伝票印刷時に表示される設定画面にて、印刷日付の編集を可能にしました。
	加工帳 加工明細 鋼材伝票 重量内訳明細 使用数量明細 出庫重量明細	各帳票の印刷設定	印字フォントを「明朝体」「ゴシック体」のどちらか選択可能に	左の帳票が印刷できる製品	印刷設定内に印字フォントを選択する機能を追加しました。 ※帳票内に印字されるユーザー会社名に関しましては現状通り明朝体での印字となります。

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
★	平面図	平面図入力 ー平面図設定	平面図画面の背景色の変更可	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	画面の背景色を変更する機能を追加。 白　←→　グレー　の間でお好みの色に調整できます。
	平面図	各部材平面図入力画面 ーコピー機能	平面図コピー機能に階指定を追加	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	今までは上階又は下階のどちらかからのコピーのみでしたが、任意の指定階からコピーすることが可能になりました。
	平面図	スラブ平面図 ー勾配入力	スラブ平面図の勾配入力画面	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	勾配入力画面内に上位梁の躯体表示も行うように変更しました。
	平面図	各部材平面図入力画面 ー立体表示機能	文字大きさの変更	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	平面立体表示時のリスト記号等の文字サイズを見やすく若干大きく変更しました。
	印刷	一括印刷 ーリスト印刷	プリンタ設定追加	積算系製品	プリンタの選択を可能にしました。
	印刷	一括印刷 ー躯体印刷	プリンタ設定追加	積算系製品	プリンタの選択を可能にしました。
	ベース	リスト入力画面	階移動機能追加	積算系製品	リスト入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	ベース	計算値設定画面	端部補強の減寸計算	積算系製品	端部補強の減寸を行わない設定を追加しました。
	柱	リスト入力画面	階移動機能追加	積算系製品	リスト入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	梁	リスト入力画面	階移動機能追加	積算系製品	リスト入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	梁	躯体寸法入力画面	階移動機能追加	積算系製品	躯体入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	梁	躯体寸法入力画面 平面図入力画面	竹中仕様でもトップ筋長さ指定可能に	積算系製品	計算値設定で竹中仕様が選択されている状態でもトップ筋長さの指定が可能になりました。
	梁	躯体寸法入力画面	柱のより寸法入力時に指定した柱記号の寸法がでる機能を追加	積算系製品	躯体入力画面の柱のより寸法入力時に柱リストを表示し、リストのページ№を入力すると柱寸法が自動表示され、左右のより寸法を入力することが可能になりました。

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	梁	計算値設定画面	両アンカの制限長さ設定	積算系製品	大梁小梁別々に両アンカ制限長さの指定ができるようになりました。
	梁	計算値設定画面	両定着板の場合の主筋制限長さ設定	積算系製品	１本もので両定着板とする場合の主筋長さの制限設定を追加しました。
	梁	施工図編集画面	スパンの範囲選択可能に	積算系製品	施工図印刷時に印刷するスパン(通り間)が指定可能になりました。
★	梁	施工図編集画面	スタラップの本数編集可能に	積算系製品	施工図画面上でスタラップの本数編集を可能にしました。 編集した内容は加工帳に反映されます。
	梁	施工図編集画面	スタラップの材質表示	積算系製品	施工図画面のスタラップ情報にスタラップの材質も表示されるようにしました。
	スラブ	リスト入力画面	リスト入力時の自動コピー機能	積算系製品	下端のリスト入力時、上端のリストをコピーするか選択できるようになりました。
	スラブ	計算値設定画面	カーソルの移動パターンの選択	積算系製品	配筋リスト入力時のカーソル移動方法を選択可能にしました。 「上端筋の配筋入力後に下端筋の入力」又は「上端筋と下端筋を交互に入力」のどちらかが選択可能です。
	スラブ	躯体寸法入力画面	階移動機能追加	積算系製品	躯体入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	スラブ	躯体寸法入力画面	追加鉄筋の線分入力	積算系製品	追加鉄筋の線分を入力する際、線分の長さを指定可能にしました。
	スラブ	躯体寸法入力画面	追加鉄筋の線分入力	積算系製品	追加鉄筋の線分を入力する際、座標指定入力を可能にしました。
	スラブ	躯体寸法入力画面	躯体寸法値の表示	積算系製品	入力されたスパン間、芯の寄り寸法を表示可能にしました。 表示の有無は選択可能です。
	スラブ	スラブ平面図 ー記号変更配置機能	スラブ記号を変更できる機能を追加	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	配置済のスラブのリスト記号を別のリスト記号に変更できる機能を追加しました。

	関連する部材、画面等		機　能　説　明	関　連　製　品	詳細・補足
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	階移動機能追加	積算系製品	躯体入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	追加鉄筋の線分を長さ指定で入力可能に	積算系製品	追加鉄筋の線分を入力する際、線分の長さを指定可能にしました。
	壁	計算値画面	上下階にスリットがある場合の計算	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	上下階にスリットがある場合の計算方法選択。 ・上階の壁に下端スリットが設定されている場合、梁内の定着までとすることが可能になります。 ・下階の壁に上端スリットが設定されている場合、さし筋を計算することが可能になります。
	壁	躯体寸法入力画面	追加鉄筋の線分を長さ指定で入力可能に	積算系製品	追加鉄筋の線分を入力する際、線分の長さを指定可能にしました。
	壁	躯体寸法入力画面	躯体の柱寸法入力で柱記号を選択して寸法入力可能に	積算系製品	躯体入力画面の柱のより寸法入力時に柱リストを表示し、リストのページ№を入力すると柱寸法が自動表示され、寸法を選択入力することが可能になりました。
	壁	躯体寸法入力画面	階移動機能追加	積算系製品	躯体入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	階段	躯体寸法入力画面	階移動機能追加	積算系製品	躯体入力画面内で階移動を可能にしました。 階を移動する場合、メインメニューに戻って階選択する必要がなくなります。
	階段	躯体寸法入力画面	段ばな筋、段押さえ筋のアンカ長指定	積算系製品	段ばな筋、段押さえ筋のアンカ長が躯体入力画面側でも指定可能としました。

鉄之助 Ver9.0 機能アップ一覧

★印は機能バージョンが 9.0 の場合に使用できる機能になります。（プログラムバージョンのみが 9.0 の場合、★印の機能は使用できません。）

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
	梁	計算値設定－梁	追い出し、追終い筋の制限長さ設定	積算系製品	地中梁用と一般梁用に追い出し筋の長さ、追終い筋の制限長さを設定することが可能になります。
★	梁	梁リスト入力	ウルボン筋用の径に対応	積算系製品	梁スタラップ筋の径入力で、ウルボン筋用の径入力及び計算を可能にしました。 ※以下の径がウルボン筋用として入力できます。 9.0、10.7、12.6、15、17
	梁	梁施工図 計算値設定－梁	継手可能領域の表示機能	積算系製品	継手可能領域を施工図画面上に表示できます。 表示の有無は切り替え可能です。施工図印刷時の領域印字の有無も切り替えできます。 ※計算を行った時点での継手領域を表示します。
	梁	梁躯体入力 梁平面図入力	端部継手領域の指定機能	積算系製品	スパン毎に端部継手の継手可能な範囲を指定することができます。
★	柱	柱リスト入力	ウルボン筋用の径に対応	積算系製品	柱フープ筋の径入力で、ウルボン筋用の径入力及び計算を可能にしました。 ※以下の径がウルボン筋用として入力できます。 9.0、10.7、12.6、15、17
★	柱	計算値設定－柱 柱躯体入力 柱施工図	柱主筋の定着板対応	積算系製品	柱主筋の定着板に対応しました。 柱施工図画面上にて定着板の編集もできます。
	柱	柱施工図 計算値設定－柱	フープ筋の材質名称の表示	積算系製品	フープ筋の材質名称を施工図に表示(印刷)可能になりました。 ※柱施工図画面上で表示の有無が切り替えできます。 ※計算値設定では、柱施工図画面を表示した際の表示有無の初期値を設定できます。

	柱	計算値設定ー柱	柱継手高さの表示の初期値設定	積算系製品	柱施工図画面上で柱継手高さの表示の有無が切り替え可能ですが、今回、柱施工図画面を表示した際の表示有無の初期値を設定できるようにしました。
	柱	計算値設定ー柱	最上階の仕口部先端のフープ筋を２重巻きにする設定	積算系製品	柱の計算値設定にて最上階の仕口部先端のフープを２重巻きで計算する設定を追加しました。
	柱	柱躯体寸法入力	偏芯設定の機能追加	積算系製品	柱躯体寸法入力画面にある偏芯設定において、芯々振り分けで偏芯寸法を自動的に入力する機能を追加しました。
	スラブ	スラブ平面図入力	形状指定配筋の配置情報の表示	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	形状指定配筋の配置後に表示される線分に配筋の名称を表示できるようにしました。又、配置した線分の長さも合わせて表示します。
★	壁	壁リスト入力 躯体寸法入力 壁平面図入力	開口寸法の登録機能を追加。	積算系製品	開口寸法を予め登録でき、躯体寸法入力や平面図入力の開口入力時に登録されている開口から選択できるようになりました。 ※登録できる開口は矩形の開口のみです。
	壁	計算値設定ー壁	１８０度フックの爪長さ設定 １３５度フックの爪長さ設定	積算系製品	閉鎖型横筋の１３５度フックや１８０度フックの爪長さが設定できるようになりました。又、さし筋の１８０度フックの爪長さも設定できるようになりました。
	壁	壁平面図入力	角補強の上部先端の１８０度フック設定	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	角補強の入力画面にて、上階への定着有無によって角補強の上部先端に１８０度フックを付けるか付けないか選択できるようになりました。
★	システム	基本計算値	スタラップ筋、フープ筋の材質毎の爪長さ設定	積算系製品	材質毎にスタラップ筋、フープ筋の爪長さの設定ができるようになりました。 高強度材質の場合は爪長さを長く設定することもできます。
	平面図	通芯入力	通芯の入力本数が 100 本以上になる場合の交点計算処理について	鉄之助プロ 拾之助+平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ	通芯の入力が１００本以上になった場合、通芯を追加入力する度に通芯交点の処理に時間がかかってしまう場合があります。そこで１００本以上になった場合は交点計算の処理を手動に切り替えることができ、任意のタイミングで交点計算の処理を行えるようにしました。

	印刷	リスト印刷ー梁	梁の簡易リストの印刷（一部変更）	リスト印刷が可能な製品	簡易リストの印刷で中子筋の入力本数が印字されるようにしました。
	集計	重量内訳書	重量内訳書の各種設定値の保存	重量内訳明細の集計が可能な製品	重量内訳明細画面の各種設定で設定した内容を既定値として保存する機能を追加しました。 新しく現場を作成する度に各種設定を変更しなくてもよくなりました。
	集計	特殊鉄筋明細	ウルボン筋用径の集計機能	特殊鉄筋明細の集計が可能な製品	特殊鉄筋明細の集計にウルボン筋用径の集計機能を追加しました。
★	加工帳	加工帳	最近入力した形状を表示	全製品	最近入力された鉄筋形状の形状と形状№を画面下に表示できるようにしました。 ※表示の有無は設定することができます。
	加工帳	加工帳入力	ウルボン筋用径に対応	全製品	ウルボン筋用の径の入力ができるようになりました。 ※以下の径がウルボン筋用として入力できます。 9.0、10.7、12.6、15、17 ※加工帳之助・絵符之助は特殊鉄筋の集計機能が使用できない為、重量集計については行うことができません。
★	加工帳	加工帳	行単位の重量印字	全製品	通常の加工帳印刷で各行毎に重量を印字できるようになりました。 各行の合計本数の項目欄に切重量、定尺本数の合計欄に定尺重量を印字します。 ※印字の有無は設定することができます。
	加工帳	加工帳	加工帳画面のカーソル移動	全製品	Shift+Home キーで先頭行にカーソルを移動できるようにしました。 Shift+End キーで最終行にカーソルを移動できるようにしました。
★	加工帳	加工帳設定	形状番号の印字	全製品	加工帳明細の印刷時も形状番号の印字有無を選択できるようにしました。

鉄之助 Ver10.0 機能アップ一覧

★印は機能バージョンが 10.0 の場合に使用できる機能になります。（プログラムバージョンのみを 10.0 にバージョンアップされた場合、★印の機能は使用できません。）

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	計算値	計算値設定	計算値設定の参照・コピー機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	他現場の計算値設定をコピーすることが可能になりました。 コピー元の計算値設定を参照して確認したり、選択した部材のみをコピーすることが可能です。
	システム	材質設定	材質初期設定（システム上） 材質初期設定（会社毎）	全製品	材質設定の初期値設定としてシステム上と会社単位上で設定することが可能になりました。
	集計	日付・工事・階・部材・径別出庫表	総合計の重量表示	入出庫之助 ＬＡＮ之助	最下行に総合計の重量を表示できるようになりました。 ※表示非表示の設定可。
★	集計	全体重量明細	一般集計、特殊材質・特殊形状の総合重量集計表	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助 入出庫之助	一般、スパイラル筋、溶接閉鎖筋の重量を１つの集計画面で確認できるようになりました。
★	ベース	躯体入力画面	計算・施工図表示・加工帳表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	ベース躯体入力画面にて、開いているページの計算実行、施工図表示、加工帳画面表示が可能になりました。（梁と同様）
★	柱	躯体入力画面	計算・施工図表示・加工帳表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	柱躯体入力画面にて、開いているページの計算実行、施工図表示、加工帳画面表示が可能になりました。（梁と同様）
★	柱	施工図	施工図画面に階高入力の寸法値表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	柱施工図画面にて、階高入力時の階高表示が可能になりました。

	梁	梁計算値	継手をずらす寸法の設定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	継手をずらす寸法の設定を大梁・小梁と別々に指定できるようになりました。 ※大梁と小梁の両方が入力されている梁躯体のページの場合、第一スパンの梁によって大梁用か小梁用かどちらかの設定で計算されます。
	梁	計算値 リスト	片持梁先端のにげ・アンカ設定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	梁計算値設定、各梁リストの計算値設定に、片持梁先端用のにげ・アンカ長の設定ができるようになりました。
★	スラブ	平面図	形状指定配筋の配筋名称の表示・非表示を切り替え可。	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	スラブ平面図画面上にて、配置された「形状指定配筋」の配筋名称の表示・非表示を切り替え可能にしました。
★	スラブ	躯体入力画面	計算・施工図表示・加工帳表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	スラブ躯体入力画面にて、開いているページの計算実行、施工図表示、加工帳画面表示が可能になりました。（梁と同様）
★	変形スラブ	躯体入力画面	計算・施工図表示・加工帳表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	変形スラブ躯体入力画面にて、開いているページの計算実行、施工図表示、加工帳画面表示が可能になりました。（梁と同様）
★	壁	躯体入力画面	計算・施工図表示・加工帳表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	壁躯体入力画面にて、開いているページの計算実行、施工図表示、加工帳画面表示が可能になりました。（梁と同様）
	加工帳	形状一覧表示画面	形状一覧画面で、登録されている固定文字も表示可に。	全製品	形状選択の一覧画面で、登録されている固定文字も表示されるようになりました。
★	加工帳	特殊機能	加工帳ファイルの送信機能	ＬＡＮ之助以外の全製品	加工帳画面上にて、加工帳ファイル保存作業後、続けてインターネット送受信サーバーを介して加工帳ファイルの送信を可能にしました。 ※データ送受信サーバーのご利用は１年毎の更新（有料）が必要な機能です。

★	加工帳	特殊機能	加工帳データのエクスポート機能	全製品	ＴＡＢ区切り(.txt)又はカンマ区切り(.csv)で出力可。 ※鉄筋形状や形状の各はたらき寸法に関するデータは出力できません。
★	加工帳	鋼材伝票	加工帳の行番号の印字	全製品	鋼材伝票の印刷時、各行に加工帳の行№を印字することが可能にしました。 ※印字の有無は設定可能です。
★	集計	在庫重量一括明細	複数現場の在庫重量の集計一覧	入出庫之助 (LAN 之助)	複数現場を指定して在庫重量の集計値を現場毎に一覧で表示します。
★	絵符	絵符印刷	印字開始位置を指定可。 ※タックシール使用時にて	加工帳之助以外の全製品	タックシール用紙を使用して絵符印刷されている場合、印字を開始する位置を指定することが可能になりました。 ※絵符印刷実行時に印字開始位置を指定する画面を表示するかしないかは設定可能です。

鉄之助 Ver11.0 機能アップ一覧

★印は機能バージョンが 11.0 の場合に使用できる機能になります。（**プログラムバージョンのみのバージョンアップの場合、★印の機能は使用できません。**）

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	加工帳	加工帳機能	定尺の再計算	全製品	加工帳の定尺取りを一括で再計算できるようになりました。 加工帳画面の[特殊機能]－[一括変更]の中と、メインメニューの[加工帳ツール]の中に[定尺再計算]機能を追加しました。 ※他から現場データをもらって復元したデータの加工帳の定尺取りを自社用の定尺取りに変換したりする場合に便利です。
★	加工帳	加工帳機能	材質名称での行選択	全製品	加工帳の付加範囲選択機能にて、指定した材質の加工帳の行選択が自動でできるようになりました。
	加工帳	加工帳設定	加工帳の印刷	全製品	加工帳印刷を行う時、圧接数の印字の有無が選択可能になりました。
	加工帳	印刷	鋼材伝票の印刷	全製品	鋼材伝票で識別文字を印字することが可能になりました。 印刷時の設定画面で印字の有無を選択することが可能です。 ※識別文字とは加工帳の[付加機能]-[識別文字]で入力された文字になります。
★	加工帳	加工帳機能	特殊鉄筋の集計	全製品	加工帳画面上から特殊鉄筋（溶接閉鎖筋・スパイラル筋・溶接筋・特殊材質・ウルボン筋）の集計が可能になりました。 ※「絵符之助」「加工帳之助」でも特殊鉄筋の集計が可能になります。
★	入庫	入庫入力	入庫入力方法	入出庫之助 LAN 之助	入庫データの入力方法として、使用数量明細表の形式で入力可能になりました。
	基本集計	全体重量明細	印字フォントの選択	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助 入出庫之助	全体重量明細の印字フォントを「明朝体」又は「ゴシック体」から選択可能になりました。 ※ユーザー会社名は明朝体で印字されます。
★	各部材	施工図画面	印刷用紙サイズ選択	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	[プリンタ設定]で用紙サイズを選択することが可能になりました。 用紙サイズを変更する場合、計算値設定の設定画面まで戻る必要がなくなります。 ※印刷時の初期値は今まで通り計算値設定で指定されている用紙サイズになります。

	ベース	施工図画面	表示縮尺	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	表示縮尺に 1/75、1/125、1/150 を追加しました。
	柱	施工図画面	表示縮尺	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	表示縮尺に 1/75、1/125 を追加しました。
	柱	計算値画面	仕口部寸法について	鉄之助プロ 拾之助(平面図ｵﾌﾟｼｮﾝ付)	梁成の交差部(重なる)を仕口部の寸法にすることが可能になりました。
	壁	施工図画面	表示縮尺	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	表示縮尺に 1/75、1/125、1/150 を追加しました。
	梁	施工図画面	表示縮尺	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	表示縮尺に 1/75 を追加しました。
	梁	リスト入力画面	中子筋種類	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	中子筋形状に１本掛けの３分割形状を追加しました。
	梁	リスト入力画面 計算値画面	トップ筋余長の mm 単位指定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	トップ筋余長がmm単位で指定可能になりました。 余長寸法入力時に、「+」記号をつけるとmm単位で入力されます。
	梁	計算値画面	ふかしｽﾀﾗｯﾌﾟ足長さの mm 単位指定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	ふかしスタラップの足長さがmm単位で指定可能になりました。 100 以下の数値はｄ単位、101 以上の数値はmm単位で計算されます。
	スラブ	施工図画面	表示縮尺	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	表示縮尺に 1/75、1/125、1/150 を追加しました。

	スラブ	計算値画面	開口補強筋の余長設定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	開口補強筋の余長の径別指定が可能になりました。 ※変形スラブと共通の計算値設定になります。
★	スラブ	躯体入力画面	入力方法	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	梁の寄寸法の入力時に、梁記号を選択して寸法を入力することが可能になりました。 ※予め梁リストを入力しておく必要があります。
	変形スラブ	施工図画面 計算値画面	配筋ピッチの表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	配筋ピッチの表示(印字)が可能になりました。 計算値設定で表示(印字)の有無が選択できます。
	変形スラブ	施工図画面	表示縮尺	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	表示縮尺に 1/75、1/125、1/150 を追加しました。
	変形スラブ	スラブ計算値画面	開口補強筋の余長設定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	開口補強筋の余長が径別に指定可能になりました。 ※スラブと共通の計算値設定になります。
	ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ	データ送受信機能　※1	送受信履歴表示	全製品 LAN 之助を除く	受信、送信した際の通信ログ(送受信した通信結果)の参照が可能になりました。
	ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ	データ送受信機能　※1	通信欄印刷機能	全製品 LAN 之助を除く	通信欄の印刷が可能になりました。
	ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ	データ送受信機能　※1	メッセージ	全製品 LAN 之助を除く	「応援情報」を「メッセージ」に名称変更しました。 機能的には今までと変わりません。 ※メッセージ送信時に、通信欄を空欄のままメッセージ入力画面を表示する機能ボタンを追加しました。

※1 データ送受信機能は、別途１年単位での利用のお申し込みが必要な有料サービスです。

鉄之助 Ver12.0 バージョンアップの機能一覧

★印はフル機能バージョンアップで使用できる機能になります。(**マイナーバージョンアップの場合、★印の機能は使用できません。**)

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
	システム			全製品	Windows8 に対応しました。 Windows 7、Windows 8 の 64bit 版では WOW64(32 ビット互換モード)上での動作となります。 ※Windows 8 の動作確認は、マイクロソフト社より公開されている「Windows 8 RTM 版」で行っています。
★	ベース 梁 スラブ 壁	リスト入力画面	鉄筋の材質指定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	各部材のリスト毎に以下の径に対する材質指定が可能になりました。 ベース：主筋、はかま筋、ダイヤ筋 梁：主筋 壁：主筋、開口補強筋、幅止筋 スラブ(ボイドスラブ)：主筋 ※指定が無い場合は、材質設定で指定されている材質で今まで通り計算します。
★	加工帳	加工帳画面	付加範囲選択機能	全製品	加工帳の付加範囲選択機能に、「鉄筋径で自動選択」する機能を追加しました。
★	ベース 柱 スラブ 変形スラブ 壁	施工図画面		鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	縮尺率の数値入力(手入力)が可能になりました。
★	集計	使用数量明細書 全体重量明細 重量内訳明細 特殊鉄筋明細 定着板箇所数 圧接箇所数 工事階部材材質径別重量一覧表		左の帳票の出力が 可能な製品	Excel 変換において、罫線付きの表で出力されるようになりました。
★	通芯	平面図設定画面	通り芯太さ設定	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	通芯の太さを「通常」(今までの太さ)と「太く」の２種類から選択可能にしました。

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	平面図	背景伏図	背景伏図コピー機能	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	背景伏図のコピーを指定階からや指定番号へコピー可能にしました。
		バージョン表示画面			バージョン表示画面に[アーキテックのホームページを表示]ボタンを追加しました。
	ベース	リスト入力画面	計算	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	追加鉄筋入力のみの計算を可能にしました。
	柱 梁 スラブ 壁 階段	リスト入力画面	全削除機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	リストページの全削除機能を追加しました。
	階段 手摺 踊り場	躯体入力画面	全削除機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体ページの全削除機能を追加しました。
	ベース 柱 スラブ 変形スラブ 壁	躯体入力画面	ショートカットキー割り当て	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体入力画面にある、[計算]・[加工帳]・[施工図]にショートカットキーを割り当てました。 [計算]→[Shift]+[F5] [加工帳]→[Shift]+[F6] [施工図]→[Shift]+[F7]
	集計	使用数量明細書画面		全製品	使用数量明細書の背景色を Windows 標準色に変更しました。
	集計			全製品	加工帳集計時、未登録の材質名称が存在した場合、すぐに材質登録ができる機能を追加しました。
	全積算	ワーニングメッセージ			全積算実行時、計算された定尺長さに異常が発生した場合などのワーニングメッセージを、積算途中ではなく積算終了時にまとめて表示するように変更しました。

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
	ベース 柱 梁 スラブ	リスト入力画面－追加鉄筋入力	追加鉄筋入力（形状指定）	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	追加鉄筋で入力できる形状指定データが、従来の６種類までから１２種類までに増えました。
	平面図	通芯入力画面	通芯全削除機能	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	通芯データの全削除(初期化)ボタンを追加しました。
	梁	平面図入力画面	躯体コピー機能	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	上位梁、下位梁間でのコピーを可能にしました。
	スラブ	平面図入力画面	躯体コピー機能	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	上位スラブ、下位スラブ間でのコピーを可能にしました。
	変形スラブ	躯体入力画面	躯体座標点数	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	入力できるＸＹ座標が４８点から９６点に増えました。
	梁	計算値設定画面 施工図画面	表示設定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	アンカ表示の選択設定を梁計算値設定に追加しました。 アンカ表示の選択設定を施工図画面※に追加しました。 ※梁施工図画面上の各表示設定は新しく追加された[表示情報]ボタンを押すことにより設定可能になります。

鉄之助 Ver13.0 バージョンアップの機能一覧

★印はフル機能バージョンアップで使用できる機能になります。（**マイナーバージョンアップの場合、★印の機能は使用できません。**）

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	システム		工事全体コピー機能	拾之助+平面図入力	拾之助の平面入力オプションで工事全体コピーが使用可能になります。 **※拾之助単体や在庫管理オプションではご使用頂けません。**
★	ベース 柱 梁 スラブ共通 壁	リスト入力画面(壁以外) 躯体寸法入力画面 平面図入力画面(スラブのみ)	追加鉄筋入力に材質設定追加	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	追加鉄筋入力画面で材質の設定が行えるようになりました。
	ベース 柱 梁 スラブ共通 壁	躯体寸法入力画面	計算開始時の確認メッセージ	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体寸法入力画面から計算を開始する時に、確認メッセージを表示する機能を追加しました。 [システム]－[システム設定]－[その他の設定]から表示/非表示を切り替える事ができます。
★	加工帳	加工帳入力画面	キャンセル機能	全製品	加工帳終了時に、変更内容の保存／キャンセルが選択できるようになりました。 [加工帳設定]－[種類毎設定]－[終了時に関する設定]で表示/非表示を切り替える事ができます。
★	加工帳	加工帳入力画面	鉄筋形状一覧の自動表示	全製品	加工帳入力時に鉄筋形状番号が入力されていない状態で形状欄にカーソルが移動すると、自動的に鉄筋形状一覧が表示されるようになりました。 [加工帳設定]－[編集設定 2]-[形状に関する設定]で表示/非表示を切り替える事ができます。
	加工帳	加工帳入力画面	圧接情報の材質変更	全製品	加工帳の材質一括変更時に、圧接情報内の材質を同時に変更する機能を追加しました。
★	ベース	リスト入力画面	形状に円形を追加	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	ベース形状一覧に円形を追加しました。
	ベース	リスト入力画面	座標数を増加	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	入力可能座標数を 12 点から 24 点に増加しました。
★	柱	計算値設定画面	最低継手高さ設定追加	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	最低継手高さ設定に、h/n 設定(一般部に対する比率での指定)を追加しました。

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	柱	施工図画面	フープ本数編集機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	柱の施工図画面に、フープ本数の編集機能を追加しました。 ※スパイラルフープ筋・ダイヤ筋の編集はできません。
	柱	平面図入力画面	回転ボタンにショートカット	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	柱配置時の寄り芯画面に表示される[回転]ボタンにショートカットキーが設定されました。
★	梁	施工図画面	STP 寸法編集機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	梁の施工図画面に、STP 寸法の編集機能を追加しました。 ※ハンチ梁の場合は編集できません。
	梁	躯体寸法入力画面	上下 STP 減寸	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	梁の躯体寸法入力画面に、上下方向に対する STP 減寸機能を追加しました。
	梁	躯体寸法入力画面	斜距離計算機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	梁の躯体寸法入力画面に、斜距離計算ボタンを追加しました。 ※斜距離の寸法を求めて寸法入力ができる入力補助機能です。 　斜めに角度の付いた鉄筋計算を行う機能ではありません。
	梁	躯体寸法入力画面	ふかしボタン表示色	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	梁の躯体寸法入力画面でふかしが設定されている場合は、ふかしボタンの色がオレンジ色に変更されるようになりました。
	梁	計算値設定画面	ふかし定着設定	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	ふかし主筋の定着方法に、『柱の手前でアンカ定着を行う』設定を追加しました。
★	スラブ共通	平面図入力画面	開口機能追加	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	スラブの平面図入力画面に、「開口」入力機能を追加しました。 ※開口の入力方法は自由入力(座標入力)の形式です。
★	スラブ共通	平面図入力画面	変換時躯体回転設定	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	スラブの平面図入力画面に、「躯体回転」機能を追加しました。 ※旧 Ver では変換時に一番長い辺が躯体画面の下辺となるように回転処理を行っていましたが、躯体回転で「回転無し」に設定する事で配置時の方向のまま躯体寸法変換が行われます。 　この設定は、スラブ毎に個別で行えます。 ※変形スラブに変換されたスラブに対して有効になる設定です。
	スラブ共通	躯体寸法入力画面	追加鉄筋名称表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体寸法入力画面に配置されている追加鉄筋の名称を表示できるようになりました。 名称の表示/非表示は切り替える事ができます。

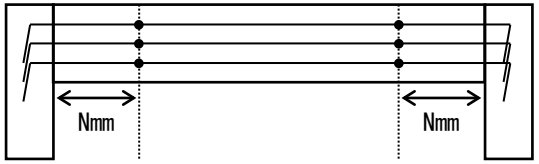
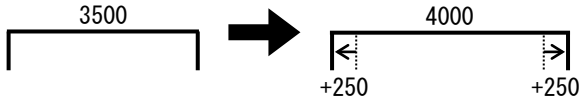
	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	スラブ	平面図入力画面	段差機能追加	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	スラブの平面図入力画面に、「段差」入力機能が追加されました。 ※段差部の入力方法は自由入力(座標入力)の形式です。 ※変換後の段差は「スラブ本体と同配筋」となります。 ※変形スラブは段差入力に対応していない為、矩形スラブのみに対して変換が行われます。
	スラブ	躯体寸法入力画面	座標列追加/削除機能（段差）	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体寸法入力画面の段差詳細で列の追加と削除が行えるようになりました。 ・Shift キー+Insert キーで躯体座標間に新規の列を追加できるようになりました。 ・Shift キー+Delete キーで選択されている列を削除できるようになりました。
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	座標列追加/削除機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	・Shift キー+Insert キーで躯体座標間に新規の列を追加できるようになりました。 ・Shift キー+Delete キーで選択されている列を削除できるようになりました。
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	形状選択追加	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体寸法入力画面の形状選択で既存形状 No8・No9 を 180 度回転させた形状が追加されました。 追加 No15 追加 No16
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	終了時データチェック	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体入力終了時に、データの入力漏れをチェックするようになりました。
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	開口削除ボタン	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体寸法入力画面に開口削除・全開口削除ボタンを追加しました。
★	壁	平面図入力画面	芯ずれ編集	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	壁平面図入力画面に配置済み躯体の芯ずれ編集機能を追加しました。
★	壁	平面図入力画面	記号変更配置	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	配置済みの記号を変更できるようになりました。

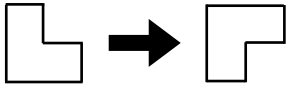
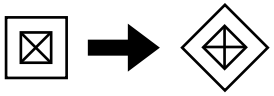
	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
	壁	躯体寸法入力画面	座標列追加/削除機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	・Shift キー+Insert キーで躯体座標間に新規の列を追加できるようになりました。 ・Shift キー+Delete キーで選択されている列を削除できるようになりました。
	壁	躯体寸法入力画面	形状選択追加	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体寸法入力画面の形状選択で既存形状 No8・No9 を 180 度回転させた形状を追加しました。 追加 No15 追加 No16
	壁	躯体寸法入力画面	追加鉄筋名称表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体寸法入力画面に配置されている追加鉄筋の名称を表示できるようになりました。 名称の表示/非表示は切り替える事ができます。
	壁	躯体寸法入力画面	終了時データチェック	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	躯体入力終了時に、データの入力漏れをチェックするようになりました。
	平面図全般	躯体寸法変換画面	確認伏図ページ番号印刷設定	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	確認伏図印刷設定に、躯体ページ番号の印刷設定を追加しました。
	平面図全般	平面図入力画面	座標指定画面表示	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	座標指定ウィンドウに、「この画面を常に表示する」設定を追加しました。
	平面図全般	平面図入力画面	高低自動ソート	鉄之助プロ 拾之助＋平面図入力	登録した高低リストが自動的に昇順で並び変わるように変更しました。
	集計	型枠コンクリート入力画面	明細書のカンマ区切り	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード	型枠コンクリート明細書の式 1～式 3 にカンマ区切りの設定を追加しました。
	集計	重量計算設定画面	鉄筋質量表追加	全製品	「JIS 重量を使用する」表記から「定尺別質量表を基にする」に変更になりました。 重量計算設定画面に鉄筋質量表を追加しました。 ※質量表の重量は編集できません。 ※今回の表記変更による数量結果への影響はございません。
	集計	入庫入力画面	摘要欄の編集機能	入庫入力が可能な製品	入庫入力画面の摘要欄が編集できるようになりました。

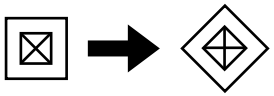
鉄之助 Ver14.0 バージョンアップの機能一覧

※フル機能バージョンアップ … 一覧の全ての機能が使用可能　／　マイナーバージョンアップ … ★印が付いていない機能のみ使用可能

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ	工事更新画面	メモ機能	全製品(LAN 之助は除く)	工事更新画面で、テキスト形式のメモ書きができるようになりました。 ※その工事に関する概要・特記事項・編集内容など、様々な事柄を自由に メモとして入力することができます。
	ﾒｲﾝﾒﾆｭｰ		工事全体コピー	工事全体コピーの 使用が可能な製品	データの全体コピー中に、コピーをキャンセルできるようになりました。
	システム	鉄筋形状画面	切寸式の編集	全製品	図形番号 407～409 の切寸式を「2A+B+12d」→「2A+B+16d」に変更しました。 ※既存の鉄筋形状データには一切影響ありません。 鉄之助製品を新規インストールした場合に、この切寸式が適用されます。 図形番号 407～409
	システム	定尺取り表画面	定尺取り表(システム単位) 定尺取り表(会社単位) 定尺取り表(工事単位) 定尺取り表(階･部材単位)	全製品(LAN 之助は除く)	定尺取り表画面に［定尺の求め方］ボタンを追加しました。 ※［加工帳設定］－［定尺の求め方］と同じ機能です。
★	加工帳	加工帳設定画面	ファイル名の自動割当	全製品	加工帳ファイルのデータ保存時のファイル名を、自動的に割り当てられるようになりました。 ※ファイル名は「(工事名)_(階名)_(部材名).tkk」と割り当てられます。
	加工帳	加工帳設定画面	切寸の本数･箇所の印字	全製品	加工帳印刷，加工明細印刷で、切寸の本数・箇所の印字有無を選択できるようになりました。
	ベース	計算値設定画面	布基礎の躯体寸法の切り上げ	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	布基礎の躯体寸法を切り上げることができるようになりました。 ※切上単位は 5㎜・10㎜・50㎜・100㎜ から選択できます。
	柱	配筋リスト入力画面	リスト名の全角入力	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	リスト名を全角で入力できるように変更しました。
	梁	計算値設定画面	主筋の定着	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	設定したニゲが「柱幅の半分+主筋径」を超えている場合でも、設定したニゲの位置で定着を止められるようになりました。
	梁	計算値設定画面	トップ余長の STP かぶり考慮	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	トップ余長を「梁成」と設定した場合に、「上下 STP かぶりの半分の寸法」を減寸せずに計算できるようになりました。 ※竹中仕様を選択している場合、本計算値は非表示になります。

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	梁	計算値設定画面	ふかし主筋の定着方法	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	ふかし主筋の定着方法の設定を、大梁・小梁とで別々に設定できるようになりました。 ※定着方法は「柱内でアンカ定着」・「引き通し」・「柱手前でアンカ定着」から選択できます。
	梁	計算値設定画面	連続するスパン梁の判定	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	上から見て斜めに傾いている梁を、連続するスパンとして 1 ページの躯体に変換する許容角度を設定できるようになりました。 ※許容角度は 10 度(現行)・12 度から選択できます。
	梁	配筋リスト入力画面	リスト登録数	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	登録できるリスト数を「320」→「960」に増加しました。
★	梁	配筋リスト入力画面	継手位置	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	計算値画面の継手位置の設定項目に「柱面」を追加しました。 ※継手位置を「柱面から Nmm 離した位置」に設定することができます。 ※他の計算値設定の内容に関わらず、1 スパンの両側に継手が設けられ、位置はイモになります。  ※「柱面」は、リスト単位の計算値画面でのみ設定することができます。システム単位・工事単位の計算値画面では設定することはできません。
	梁	躯体寸法入力画面	画面レイアウトの変更	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	STP 減寸設定・水平片ハンチ設定など、一部の機能の配色やレイアウトを変更しました。 ※機能自体に変更はありません。
	梁	施工図画面	鉄筋編集	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	施工図画面を起動した時に、鉄筋編集項目が開かれた状態で画面表示するように変更しました。
★	梁	施工図画面	はたらき変更	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	はたらき変更の変更方法に「左右振分」を追加しました。 ※鉄筋の中心部を固定して、左右端へ 1/2 ずつ はたらきを伸縮します。 ≪例≫：はたらきを 3500mm → 4000mm へ変更 

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
	梁	平面図入力画面	芯ずれ編集	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	芯ずれ編集を行った時に、設定済みの「高低」「アンカ・にげ」「トップ筋」「端部継手」をクリアせずに保持できるようになりました。
★	梁	平面図入力画面	伸縮機能	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	配置済みの梁躯体を伸縮できるようになりました。 ※柱と梁に隙間が空いている場合などに、梁を再配置しなくても隙間を埋めることができます。 ※伸縮を行った時に、設定済みの「高低」「アンカ・にげ」「トップ筋」「端部継手」をクリアせずに保持することができます。
★	スラブ	配筋リスト入力画面	通常スラブ段差補強 ボイドスラブ段差補強	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	段差補強画面の入力項目に「STP」を追加しました。 ※段差部の STP の径・ピッチ・図形番号を入力することができます。 ※スラブ厚・段差部の高低差などを基に、寸法を自動算出した STP を計算済み加工帳へ出力します。なお、施工図画面には表示されません。
	スラブ	躯体寸法入力画面	座標値指定画面の表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	座標値指定画面の「この画面を常に表示する」の初期選択を設定できるようになりました。
★	スラブ	躯体寸法入力画面	回転機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	配置済みの段差領域・開口領域を回転できるようになりました。 ≪例≫：領域を時計回りに 90 度回転 
	スラブ	躯体寸法入力画面	中心座標の指定配置	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	段差メニュー・開口メニューに「矩形の中心で配置」を追加しました。 ※段差領域・開口領域を、座標値指定して配置・移動・コピーする時に、領域の中心座標を指定して配置することができます。
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	開口配置数	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	配置できる開口数を「7」→「35」に増加しました。
★	変形スラブ	躯体寸法入力画面	回転機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	入力済みの躯体形状・開口形状を回転できるようになりました。 ≪例≫：躯体形状・開口形状を時計回りに 45 度回転  ≪例≫：開口形状のみを時計回りに 45 度回転

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
	変形スラブ	躯体寸法入力画面	候補点表示	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	追加鉄筋を配置する時に、候補点を表示して配置できるようになりました。 ※躯体形状の各角に黒丸が表示され、そばをクリックすると黒丸の位置に自動的に補正します。
	壁	計算値設定画面	立ち上がりの下部定着方法	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	真下に壁が配置されていない場合に、縦筋・さし筋を梁底から立ち上げることができるようになりました。
	壁	配筋リスト入力画面	リスト登録数	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	登録できるリスト数を「120」→「960」に増加しました。
	壁	躯体寸法入力画面	座標入力数	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	入力できる座標数を「36」→「96」に増加しました。
★	壁	躯体寸法入力画面	回転機能	鉄之助プロ 鉄之助スタンダード 拾之助 現場之助	入力済みの躯体形状・開口形状を回転できるようになりました。 ※スリット・角補強を配置している躯体は、回転することはできません。 ≪例≫：躯体形状・開口形状を時計回りに 45 度回転  ≪例≫：開口形状のみを時計回りに 45 度回転
	平面図全般	平面図設定画面	座標値指定画面の表示	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	座標値指定画面の「この画面を常に表示する」の初期選択を設定できるようになりました。
	平面図全般	通り芯入力画面	基準線伸縮	鉄之助プロ 拾之助+平面図入力	基準線伸縮を行う時に、確認メッセージを表示するように変更しました。
	集計	使用数量明細画面	単一明細書	全製品	単一明細書の集計実行中に、集計をキャンセルできるようになりました。
★	集計	使用数量明細画面	圧接の印字	全製品	印刷，Excel 変換で、圧接の印字有無を選択できるようになりました。
	集計	使用数量明細画面	会社名･工事名の余白	全製品	集計表を印刷する時の、会社名・工事名の「タイトル部」と「名称」間の余白を設定できるようになりました。 ※余白は 1 文字分・2 文字分・3 文字分(現行)から選択できます。

	関連する部材、画面等		機　　能	関　連　製　品	詳細・補足
★	集計	使用数量明細画面	明細欄のフォントサイズ	全製品	集計表を印刷する時の、径・本数などの明細欄のフォントサイズを設定できるようになりました。 ※フォントサイズは 10(現行)・11・12 から選択できます。
★	集計	使用数量明細画面	コメント欄のフォントサイズ	全製品	集計表を印刷する時の、コメント欄のフォントサイズを設定できるようになりました。 ※フォントサイズは 9・10(現行)・11・12・13・14 から選択できます。
	集計	入庫入力画面	起動時の表示位置	入出庫之助 LAN 之助	入庫入力画面を起動した時に、最終行から表示できるようになりました。 ※起動時の表示位置は「先頭行(現行)」・「最終行」から選択できます。
★	集計	入庫入力画面	コピー貼付	入出庫之助 LAN 之助	コピー取込した入庫データを、他の工事へ貼り付けることができるようになりました。
★	集計	使用数量明細，重量内訳明細 特殊鉄筋明細，階･部材別出来高 出庫重量明細，定着板箇所数 全体重量明細，日付･径別出来高 加工手間集計表，揚げ材入力 重量明細表，加工指示書 入庫入力，入庫重量明細 在庫重量明細，径別入出在庫一覧 累積在庫一覧,径別契約入出在庫表	工事名の強調印刷	左側に記した集計表の 使用が可能な製品	集計表を印刷する時の、工事名を太字で印刷できるようになりました。
☆	集計	出庫重量明細 圧接箇所数(柱筋割増表示) 圧接箇所数(梁追い終い箇所数) 日付･径別出来高 工事･径別出庫表 日付工事階部材径別出庫表 加工手間集計表 会社･担当者別出庫表 加工予定重量 揚げ材入力 重量明細表 加工指示書 入庫重量明細 在庫重量明細 径別入出在庫一覧 累積在庫一覧 径別契約入出在庫表 会社別入出庫表 在庫重量一括明細	Excel 変換	左側に記した集計表の 使用が可能な製品	集計表に表示されている各項目の内容を､Excel データに変換できるようになりました。 ※Microsoft Excel がインストールされている必要があります。 【重要】 1. 本機能は、**機能バージョン 5.5 以上**で使用することができます。 2. 罫線付きで変換する機能は、**機能バージョン 12.0 以上**で使用することができます。